

四半期報告書

第64期第3四半期

平成26年10月1日から
平成26年12月31日まで

スガイ化学工業株式会社

(E00906)

目 次

頁

表紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	3
1 事業等のリスク	3
2 経営上の重要な契約等	3
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
第3 提出会社の状況	5
1 株式等の状況	5
2 役員の状況	6
第4 経理の状況	7
1 四半期財務諸表	8
(1) 四半期貸借対照表	8
(2) 四半期損益計算書	10
2 その他	12
第二部 提出会社の保証会社等の情報	13

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年2月12日
【四半期会計期間】	第64期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	スガイ化学工業株式会社
【英訳名】	SUGAI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 永岡 雅次
【本店の所在の場所】	和歌山県和歌山市宇須四丁目4番6号
【電話番号】	和歌山 073（422）1171（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役 管理本部長 武田 晴夫
【最寄りの連絡場所】	和歌山県和歌山市宇須四丁目4番6号
【電話番号】	和歌山 073（422）1171（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役 管理本部長 武田 晴夫
【縦覧に供する場所】	株式会社 東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第3四半期 累計期間	第64期 第3四半期 累計期間	第63期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	3,818,390	4,003,544	6,504,953
経常利益 (千円)	190,646	29,526	318,531
四半期(当期)純利益 (千円)	168,580	11,992	251,628
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	2,510,000	2,510,000	2,510,000
発行済株式総数 (千株)	13,730	13,730	13,730
純資産額 (千円)	4,976,801	5,189,697	5,018,287
総資産額 (千円)	10,106,759	10,228,682	10,349,252
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	12.30	0.88	18.37
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	3.00
自己資本比率 (%)	49.2	50.7	48.5

回次	第63期 第3四半期 会計期間	第64期 第3四半期 会計期間
会計期間	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	2.74	3.54

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、新たに決定または締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(経営成績の分析)

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による経済政策及び金融緩和政策を背景に、円安株高が継続し企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が長期化し、また海外においては、米国経済は堅調に推移したものの、欧州経済の低迷、中国の成長鈍化、ウクライナや中東での地政学的リスクの高まりなど依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、国内売上高は2,188百万円となり、前年同期(1,251百万円)に比べ936百万円(74.8%)の大幅な増収となりました。これは、医薬用中間物及び農薬用中間物が増加し、機能性用中間物が回復したためです。

一方、輸出売上高は1,814百万円となり、前年同期(2,566百万円)に比べ751百万円(29.3%)の大幅な減収となりました。これは、医薬用中間物及び農薬用中間物が減少したためです。

この結果、総売上高は4,003百万円となり、前年同期(3,818百万円)に比べ185百万円(4.8%)の増収となりました。また、輸出比率は45.3%(前年同期67.2%)となりました。

利益につきましては、円高是正により採算の改善していた輸出売上の減少、原燃料価格高騰分の製品価格への転嫁遅れ、競争激化、工場稼働率の低下等による売上原価率の悪化により、営業損失は21百万円(前年同期 営業利益155百万円)となりました。営業外損益では為替差益62百万円を計上したこともあり、経常利益は29百万円(前年同期 190百万円)、四半期純利益は11百万円(前年同期 168百万円)となりました。

(財政状態の分析)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ120百万円減少の10,228百万円となりました。これは主に、商品及び製品が689百万円、投資有価証券が時価の変動により252百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が885百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ291百万円減少の5,038百万円となりました。これは主に、借入金488百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末に比べ171百万円増加の5,189百万円となり、自己資本比率は50.7%(前事業年度末48.5%)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題については、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間における研究開発費の総額は187百万円です。なお、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 生産及び販売の実績

当第3四半期累計期間において、生産及び販売実績が著しく変動しました。内容は下記のとおりであります。

なお、当社の事業は、有機化学合成に基づく中間物の製造、販売、研究及びサービス等を行う単一セグメントであるため、セグメント情報を記載しておりませんので、「生産及び販売の実績」については製品の種類別ごとに記載しております。

① 生産実績

区分	生産高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	
医薬用中間物	1,415,915	715,251	△49.5
農薬用中間物	3,376,372	3,230,915	△4.3
機能性用中間物	266,925	491,449	+84.1
その他用中間物	75,033	65,549	△12.6
界面活性剤	329,035	256,072	△22.2
合計	5,463,282	4,759,238	△12.9

(注) 金額は、販売価格（消費税等抜き）によっております。

② 販売実績

区分	販売高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	
医薬用中間物	977,557	802,707	△17.9
農薬用中間物	2,151,711	2,223,253	+3.3
機能性用中間物	308,577	567,398	+83.9
その他用中間物	100,832	101,333	+0.5
界面活性剤	259,723	284,343	+9.5
その他	19,987	24,507	+22.6
合計	3,818,390	4,003,544	+4.8

(注) 1 金額には、消費税等は含まれておりません。

2 主な輸出先、輸出販売高の増減は、次のとおりであります。

輸出先	輸出販売高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	
北米	2,130,420	1,276,248	△40.1
欧州	427,012	530,323	+24.2
アジア他	9,180	8,294	△9.6
合計	2,566,612	1,814,866	△29.3

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数 (株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成27年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,730,000	13,730,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	13,730,000	13,730,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年12月31日	—	13,730,000	—	2,510,000	—	2,016,543

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができませんので、直前の基準日である平成26年9月30日の株主名簿により記載しております。

① 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 30,000	—	単元株式数 1,000株
完全議決権株式 (その他)	普通株式 13,650,000	13,650	同上
単元未満株式	普通株式 50,000	—	1単元 (1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	13,730,000	—	—
総株主の議決権	—	13,650	—

② 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(自己保有株式) スガイ化学工業株式会社	和歌山県和歌山市宇須 四丁目4番6号	30,000	—	30,000	0.22
計	—	30,000	—	30,000	0.22

(注) 当第3四半期会計期間末の自己株式数は31,000株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

① 資産基準	0.3%
② 売上高基準	0.7%
③ 利益基準	38.3%
④ 利益剰余金基準	△2.5%

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	788,483	525,633
受取手形及び売掛金	2,363,037	※1 1,477,835
商品及び製品	2,410,311	3,099,667
仕掛品	80,746	181,073
原材料及び貯蔵品	205,511	248,317
その他	40,230	50,120
貸倒引当金	△7,112	△4,452
流動資産合計	5,881,207	5,578,197
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	869,364	837,207
機械及び装置（純額）	929,019	873,174
土地	1,328,624	1,328,624
その他（純額）	443,562	459,339
有形固定資産合計	3,570,570	3,498,344
無形固定資産	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	815,946	1,068,445
関係会社株式	3,819	3,819
その他	86,081	88,248
貸倒引当金	△14,190	△14,189
投資その他の資産合計	891,656	1,146,323
固定資産合計	4,468,044	4,650,485
資産合計	10,349,252	10,228,682
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	775,785	977,720
短期借入金	1,200,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	800,777	740,273
未払法人税等	45,001	—
賞与引当金	82,127	21,630
その他	469,394	491,745
流動負債合計	3,373,085	3,331,369
固定負債		
長期借入金	1,482,040	1,154,380
退職給付引当金	306,832	361,651
その他	169,007	191,584
固定負債合計	1,957,880	1,707,616
負債合計	5,330,965	5,038,985

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	351,823	322,715
自己株式	△4,776	△4,922
株主資本合計	4,873,589	4,844,336
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	144,697	345,361
評価・換算差額等合計	144,697	345,361
純資産合計	5,018,287	5,189,697
負債純資産合計	10,349,252	10,228,682

(2)【四半期損益計算書】

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	3,818,390	4,003,544
売上原価	2,998,725	3,369,764
売上総利益	819,664	633,780
販売費及び一般管理費		
発送運賃	58,371	54,394
従業員給料及び手当	257,803	239,337
賞与引当金繰入額	8,817	6,703
退職給付費用	47,453	48,136
その他	292,013	306,701
販売費及び一般管理費合計	664,460	655,272
営業利益又は営業損失(△)	155,203	△21,492
営業外収益		
受取利息	131	130
受取配当金	17,009	18,992
為替差益	51,003	62,917
補助金収入	6,211	6,898
その他	8,974	13,510
営業外収益合計	83,328	102,449
営業外費用		
支払利息	25,880	21,948
休止固定資産維持費用	13,916	15,798
その他	8,089	13,683
営業外費用合計	47,886	51,430
経常利益	190,646	29,526
特別利益		
投資有価証券売却益	8,321	—
特別利益合計	8,321	—
特別損失		
固定資産除却損	18,538	18,801
特別損失合計	18,538	18,801
税引前四半期純利益	180,429	10,724
法人税、住民税及び事業税	12,476	5,559
法人税等還付税額	—	△6,318
法人税等調整額	△627	△508
法人税等合計	11,848	△1,267
四半期純利益	168,580	11,992

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

※1 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております。

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形	一千円	8,035千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
減価償却費	346,022千円	357,602千円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月24日 定時株主総会	普通株式	41,099	3	平成26年3月31日	平成26年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

当社の事業は、有機化学合成に基づく中間物の製造、販売、研究及びサービス等を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (円)	12.30	0.88
(算定上の基礎)		
四半期純利益 (千円)	168,580	11,992
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	168,580	11,992
普通株式の期中平均株式数 (千株)	13,701	13,699

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月10日

スガイ化学工業株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 日根野谷 正人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥 田 賢 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスガイ化学工業株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第64期事業年度の第3四半期会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、スガイ化学工業株式会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。